

2020年度 法科大学院

第5期末修者

入学試験問題

(小論文方式)

試験時間 80分

注意事項

- (1)試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2)この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3)試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4)解答は必ず【小論文1】の解答は【小論文1】の解答用紙に、【小論文2】の解答は【小論文2】の解答用紙に、記入してください。
- (5)下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6)参照は不可となっています。
- (7)解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8)試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9)問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文1]

以下の文章を読み、下記の設定に答えなさい。解答は解答用紙 [小論文1] に記入してください。

都内の某自動車教習所のラウンジで、教習所教官 A と、大学生 B 男、大学生 C 女とが雑談をしている。話題は、最近問題となっている自動運転のことである。

A：ネットやテレビで自動運転のことが取り上げられているけど、意外に身近なことなんだよ。そのうち自動運転の自動車がみられるかもしれない。

B：このあいだテレビのニュースで、国内大手の自動車メーカーが、街ごと AI 化して、いたるところで無人の箱みたいなのが走り回る未来の社会を紹介しているのを見たけど、それは将来の話でしょう。いまの道路を自動運転車が走るということなんですか。

A：そのとおり。道路交通法が改正されて、限定された範囲だけど自動運転車の走行が認められるようになるかもしれないんだよ。

C：そんなにも技術が進んでいるんですね。知らなかったわ。アメリカでもまだ実験的な段階だと思い込んでいたわ。

A：いやいやそう遠い話でもないんだよ。

自動運転については、レベル1からレベル5の5段階に分けて説明されるのが普通だ。レベル1は運転を補助するシステムで、走行、制動、加速のいずれか1つがシステムに委ねられているものだ。

そして、レベル2は、それらのうち複数が委ねられているものだ。レベル1、2では、あくまで運転するのは運転者であって、これらのシステムは運転を補助する技術にすぎないわけ。

次のレベル3も、同じようにハンドルがあってブレーキもついている車なんだが、自動運転のシステムが主体となっていて、必要があれば運転者の介入を求めるものなんだ。

レベル4は、限定された環境、例えば高速道路における完全な自動運転。

レベル5になると、そうした限定がない、すべての状況における全面的な自動運転の段階だね。

C：レベル5というのはまだ先のことのような気がするけど。

A：そのとおりで、いま問題になっているのは、レベル3のあたりかな。例えば、道路が渋滞しているときとか、高速道路で単調な運転を継続するときなどに、自動運転に切り替えることができるようになる。

B：自動運転で走行していて、途中で何かあると、システムから運転を交代してくださいと警告されるのですか。

A：そうだよ。

C：運転者が安心しきって居眠りしてたらどうなるのかなあ。

A：それはだめだよ。安全のためには運転者がいつも気をつけてなくちゃ危ないじゃない。酒を飲んで酔っ払っていてもだめ。それは自動車の運転をする者なら当然のことでしょう。

B：自動運転中に運転席でスマートフォンを使うことや、食事をしたり、本を読んだりすることはできるんでしょう。

A：それはいいんじゃないかな。でないと運転を機械に任せている意味がないからね。

C：でも、スマートフォンの操作や読書に熱中していると、システムの警告音に気づかなかったりするんじゃない。危険な面もあるわね。

B：でも、そういうことをいちいち気にしてたら、せつかくの便利なものを見殺しにしてしまうんじゃないかな。夢の社会が遠のいてしまうよ。そもそも自動車を利用することにしたって、一定の割合で事故が発生することは想定されているわけでしょう。レベル 3 の段階でも自動運転システムを導入することは十分に考えられると思うな。

C：いや、安全が何より大事よ。便利なシステムも機械である以上、故障することはあるだろうし、そう簡単なことではなさそうね。いまの社会にレベル 3 の段階の自動運転を取り入れるのは時期尚早なんじゃないかしら。不十分な技術のままシステムを導入することには反対です。

A：いろいろな意見がありそうだね。みんなでもよく考えてみる必要があるね。

問 1 自動運転が広く普及することによって、社会全体にどのようなメリットがあると考えられるか。あなたの考えを 500 字程度でまとめなさい。(50 点)

問 2 レベル 3 の自動運転システムを現在の社会に導入することについて、あなたの考えを 500 字程度でまとめなさい。(50 点)

[小論文 2]

以下の文章は、朝日新聞 2020 年 1 月 10 日の社説からのものです。この文書を読み、下記の設問に答えなさい。解答は解答用紙 [小論文 2] に記入してください。小論文 2 では、字数の指定はありません。解答の際には、問いの番号を明記してください。

問 1 記事によれば、台風による千葉での停電からの復旧が遅れた要因はなんであると東京電力は考えているか。また、それに対して政府はどのような対応をとろうとしているか、小論文 2 の解答用紙に記載しなさい。(10 点)

問 2 台風による千葉での停電を踏まえ経済産業省がまとめた電力供給の強靱化策の特徴とそれに対する記事の評価を小論文 2 の解答用紙に記載しなさい。(10 点)

問 3 台風による千葉での停電からの復旧が大幅に遅れた大きな要因はなんであると記事は指摘し、どのような対策を提言しているか。また、それに対するあなたの見解を小論文 2 の解答用紙に記載しなさい。(20 点)